

■ 評価結果 ■

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD NC 2024 v1.2

A large, modern, white industrial building with 'KWE INDUSTRIAL' written on its side. The building has multiple levels with windows and external staircases. It is surrounded by greenery, including trees and grass, and a parking lot with several vehicles. The sky is blue with some clouds.

Q2 サービス性能

Q3 室内環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

1 2 3 4 5

Q のスコア= 2.7

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 2.1

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

生物環境 まちなみ 地域性

LR のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.4

項目	スコア
地球温暖化	3.7
地域環境	3.5
周辺環境	3.2

地球温暖化 地域環境 周辺環境

その他	

無断転載禁止

CASBEE-建築(新築)2024年版
GLP熊本大津プロジェクト

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2024年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.2

スコアシート		竣工段階									
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質										2.7	
Q1 室内環境							-		-	-	
1 音環境						-	-		-	-	
1.1 室内騒音レベル				—		-	-		-		
1.2 遮音						-	-		-		
1				開口部遮音性能		-	-		-		
2				界壁遮音性能		-	-		-		
3				界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-		
4				界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-		
1.3 吸音				—		-	-		-		
2 温熱環境						-	-		-	-	
2.1 室温制御				—		-	-		-		
1				室温		-	-		-		
2				外皮性能		-	-		-		
3				ゾーン別制御性		-	-		-		
2.2 湿度制御				—		-	-		-		
2.3 空調方式				—		-	-		-		
3 光・視環境						-	-		-		-
3.1 昼光利用				—		-	-		-		
1				昼光率		-	-		-		
2				方位別開口			-		-		
3				昼光利用設備		-	-		-		
3.2 グレア対策				—		-	-		-		
1				昼光制御		-	-		-		
3.3 照度				—		-	-		-		
3.4 照明制御				—		-	-		-		
4 空気質環境						-	-		-		-
4.1 発生源対策				—		-	-		-		
1				化学汚染物質		-	-		-		
4.2 換気						-	-		-		
1				換気量		-	-		-		
2				自然換気性能		-	-		-		
3				取り入れ外気への配慮		-	-		-		
4.3 運用管理						-	-		-		
1				CO ₂ の監視		-	-		-		
2				喫煙の制御		-	-		-		
Q2 サービス性能						-	0.43	-	-	3.5	
1 機能性						-	-		-	-	
1.1 機能性・使いやすさ				—		-	-		-		
1				広さ・収納性		-	-		-		
2				高度情報通信設備対応		-	-		-		
3				バリアフリー計画		-	-		-		
1.2 心理性・快適性						-	-		-		
1				広さ感・景観		-	-		-		
2				リフレッシュスペース		-	-		-		
3				内装計画		-	-		-		
1.3 維持管理						-	-		-		
1				維持管理に配慮した設計		-	-		-		
2				維持管理用機能の確保		-	-		-		
2 耐用性・信頼性						3.3	0.50		-	3.3	
2.1 耐震・免震・制震・制振				—		3.0	0.50		-		
1				耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2				免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				—		4.0	0.30		-		
1				躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2				外壁仕上げ材の補修必要間隔		5.0	0.20		-		
3				主要内装仕上げ材の更新必要間隔		5.0	0.10		-		
4				空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5				空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20		-		
6				主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性						3.2	0.20		-		
1				空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2				給排水・衛生設備		3.0	0.20		-		
3				電気設備		3.0	0.20		-		
4				機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		

		5	通信・情報設備	通信ケーブル引込配管を複数用意(5本) 引込ルートは1か所だが、異なる電話局から引き込める様に配管を複数用意(5本) 精密機械の地下空間への設置を避けている	4.0	0.20	-	-	
--	--	---	---------	--	-----	------	---	---	--

3	対応性・更新性			3.7	0.50	-	-	3.7
	3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	平均6.65m	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.09	5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	幹線ルートについて、ケーブルラック方式 縦系統はEPS内に設置、横系統は天井内に設置	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	幹線ルートについて、ケーブルラック方式 縦系統はEPS内に設置、横系統は天井内に設置	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.57	-	-	2.1
1	生物環境の保全と創出		—	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制		—	-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用(直接利用)		—	3.0	0.13	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEIm=0.50	4.0	0.63	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価			4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用に向けた取組み			1.8	0.25	-	-	1.8
	集合住宅以外の評価			1.8	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	2.0	0.40	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	1.0	0.40	-	-	
	4.3	非化石エネルギーの導入の拡大	—	3.0	0.10	-	-	
	4.4	コミショニングの推進	—	3.0	0.10	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.6
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	過半の洗面器、小便器及び大便器に省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
	2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.11	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	地中梁に高炉セメント使用	5.0	0.22	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体(鉄骨) + 軽鉄 + 仕上げ材 OAフロアを採用	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮		評価対象建物 : 44.60(kg-CO2/年m2) 参照建物 : 55.02(kg-CO2/年m2)	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
	2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースの確保 適切な量のバイク置場の確保 管理車両の駐車施設の確保 駐車場の導入路の配慮	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	

3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす 「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	-	-	○						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	3.0		○	○	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		-	1.0	-	-	-	-	-	1.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用(直接利用)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1.4 コミッシヨニングの推進	-		-	-	-	-	-								
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	1.0	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		1.0	-	-	3.0	-	-	-	1.0	1.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
屋光率	0.0%				
自然換気有効開口面積率	0.0%				

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡					
天井高	0 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	30 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	0 m					
壁長さ比率	0.0%					
床荷重	3000 N/m2					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	8%	建物緑化指数	0%				
空地率	47%	水平投影面積率	1%	地表面対策面積率	5%	舗装面積率	44%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用(直接利用)

BPI/BPI _m	-	断熱等性能等級	対象外	相当			
影響範囲の割合	0.0%		採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%	
			通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%	
			太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池 .0kWh
BEI/BEI _m	再エネ有	0.50	無	0.50	オフサイト再エネ有	-	〇〇GJ/年
一次エネ削減率	再エネ有	#####	無	#####		-	

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%						
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-		
使用比率	0.0%						
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	103%	隣棟間隔指標R _w	1.73				
地表面対策面積率	6.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%		
見付面積S _b	1,170㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	59.48 m	基準高さH _b	19 m		
緑地	263㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
				再帰性反射対策面	㎡		